

コース案内図

■ ハーフコース ■ 10kmコース
■ チャレンジラン(2.5km)・ファミリーラン(2.5km)

関門閉鎖時刻
 第1関門 ハーフ／12.7km地点…10時50分
 第2関門 ハーフ／15.4km、10km／7.2km地点…11時10分
 第3関門 ハーフ／18km地点…11時30分

第1給水所 ハーフ・10km／3.1km 第4給水所 ハーフ／16.1km、10km／7.9km
 第2、3給水所 ハーフ／6.9km、12.1km 第5給水所 ハーフ／18km

第1トイレ ハーフ・10km／3.1km
 (ハーフ／16.1km、10km／7.9km地点からも利用可)
 第2トイレ ハーフ／12.1km
 (ハーフ／6.9km地点からも利用可) 第3トイレ ハーフ／17.3km
 (ハーフ／18.0km地点からも利用可)



上田古戦場公園とは

「古戦場」の由来と上田原合戦について

戦国時代に諏訪・佐久地方をほぼ平定し、北信濃への進出を企てていた甲斐（現在の山梨県）の武田晴信（信玄）公が、坂城の葛尾城を本拠地とし上田・小県地方にも勢力を延ばしていた村上義清公と天文17年（1548年）に上田原合戦におよんだ。武田晴信（信玄）公は産川東方の倉升山に陣を構え、村上義清は産川下流の西方の天臼（須々貴山）を背に陣を敷いたと伝わっている。合戦は主として現古戦場公園を含む下之条から上田原付近で行われ、清野川や産川を境として激戦が展開された。地の利を得た村上方は優勢に戦いを進め、武田方は板垣信方などの有力な武將をこの地で失い、大将の晴信も手傷を負い敗退を余儀なくされた。

武田晴信（信玄）公にとって数少ない負け戦の一つである。